

## 館山市 校務 DX 計画

### ○提言

- ・「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」（令和 5 年 3 月）
- ・「教師を取り巻く環境整備について緊急的に取り組むべき施策（提言）  
～教師の専門性の向上と持続可能な教育環境の構築を目指して～」  
（令和 5 年 8 月中央教育審議会初等中等教育分科会質の高い教師の確保特別部会）

### ○チェックリスト

- ・「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」（令和 5 年 9 月）

#### 1 クラウドルールを活用した教職員間の情報交換

クラウド環境を活用した校務 DX の積極的な推進

- (1) 職員間の情報共有や連絡にクラウドサービスを取り入れていますか  
⇒令和 3 年度から Microsoft365、令和 5 年度から統合型校務支援システムを利用し、職員間の円滑な情報共有に努めている。
- (2) 児童生徒向けの各種連絡にクラウドサービスを利用していますか  
⇒児童生徒に対しては、Microsoft365 を利用し、各種連絡を行える体制を整えている。
- (3) 宿題や定期テストの実施や採点や集計にクラウドサービスを利用していますか  
⇒令和 6 年度下半期から中学校へ AI 機能を用いた採点支援システムを導入し、採点業務を効率化すると共に、結果の分析等の活用を進める。

#### 2 校務処理の負担軽減

校務支援システムへの不必要な手入力の廃止

- (1) 校務支援システムへ新入学児童生徒の名簿情報を登録する際の主な入力方法を教えてください。  
⇒新年度開始時における校務支援システムへの情報登録は、一括年次更新で実施している。  
また、新入生については、学齢簿のデータを学校へ送付し、不必要な手入力をする必要がないよう業務負担軽減に努める。

#### 3 会議資料のペーパーレス化

- (1) 資料についてクラウドサービスを利用し、共有していますか。  
⇒共有のファイルサーバーや統合型校務支援システムを利用し、職員間の円滑な情報共有及び会議のペーパーレス化に努める。

#### 4 学校と保護者間の連絡手段のデジタル化

- (1) 児童生徒の欠席、遅刻、早退連絡についてクラウドサービスを利用していますか。（P C、モバイル端末からの受付と集計）  
⇒令和 6 年下半期より双方向型保護者連絡システムを導入し、欠席、遅刻、早退等の連絡について連絡手段のデジタル化に取り組む。
- (2) 保護者への調査・アンケート等に対してクラウドサービスを利用して実施・集計していますか。

⇒令和5年度まではMicrosoft365や電子申請システムを利用して取組みを進めたが、その機能を継続しつつ、令和6年度下半期より、双方向型保護者連絡システムを利用し、調査・アンケートの実施・集計ができる環境も整えた。

(3) 保護者からの問い合わせや連絡についてクラウドサービスを利用して受付・回答していますか。

⇒クラウドサービスを利用して受付・回答を受け付けていない。今後の地域の情勢や全国的な動向等を踏まえ、検討する。

(4) 保護者との面談や説明会等をオンラインサービス形式で実施していますか。

⇒一定の学校は、保護者との面談や説明会等をオンラインサービス形式で実施している。引き続き、面談や説明会の特性に応じて実施を検討する。

## 5 不合理な手作業を一層

F A Xによる交信の廃止、書類への押印廃止

(1) 「FAXの利用が例外的に必要なと考えられる業務」以外の日常の業務にFAXを使用していますか。

⇒「F A Xの利用が例外的に必要なと考えられる業務」以外の日常の業務にFAXを使用する場面がある。また、F A Xの使用が業務上効率的である場面もある。そのため、今後は状況を整理し、必要に応じてF A Xの使用について検討する。

(2) 保護者・外部と押印・署名が必要な交信をしていますか。

⇒押印が省略されている書類は多いが、書類の性質により押印を必要とする書類がある。そのため、今後は状況を整理し、押印署名について検討する。

## 6 次世代の校務システムの導入に向けた検討を行うことについて

⇒令和5年度から導入を開始した校務支援システムの次期契約に向け、検討を進める。現在、本市では、学習系ネットワークと校務系ネットワークが分離しているため、次世代の校務支援システムの導入については、ネットワークの再構築から検討を進める必要がある。関係部署と連携し、検討協議する。